

### 民 生 費

◎子育て支援・多世代交流  
複合施設運営事業

〔質疑〕こじゅろうらっキッズランドの利用者のうち、白石市民の人数は。

〔答弁〕令和5年度の利用者総数9万1747人のうち、白石市民は9748人である。

〔質疑〕当事業が定住支援のきっかけとする根拠は。

〔答弁〕定住につながったとするデータは把握していないが、来館者の約89%が市外の方で、館内の一角に「白石市子育てサポート情報掲示板」を設置し、本市の子育て支援に係る情報を発信することで定住支援を図っている。

また、白石市移住交流サポートセンター「109・one（トークワン）」と連携し、お試し住宅の利用者に、キッズランドの体験をしていただいていることも、定住先を決める判断材料の一つになっている。

### 衛 生 費

◎保健衛生総務費

〔質疑〕白石市病院事業会計への出資金・補助金・負担金の額および繰出金の合計額とその詳細は。

〔答弁〕一般会計から病院事業会計への繰出金は、補助金5億8403万5626円、負担金3億9803万69800円、出資金11億9519万円であり、総額で20億8906万2606円。

負担金と補助金は、病院事業会計で指定管理者への委託料（1億円）、経営基盤強化交付金（3億円）、給与特例措置交付金（現給保障）（7089万円）、長期前受金戻入分を除く減価償却費等（2億7998万円）、企業債利息（9716万円）、職員給与費（38878万円）などに充当している。

出資金の11億9519万円のうち、8億7170万円は、病院事業会計において、令和3年度に借入れを行

### 農 林 水 産 業 費

◎農産物等販売施設運営事業

なった特別減収対策企業債（コロナ債）の繰上償還を行い、それ以外の3億2349万円は、通常の償還金に充当している。

〔質疑〕おもしろい市場について、取引している農産物生産者、物産事業者数の推移と、新規の農業者向けに出品を促す取り組みの内容は。

〔答弁〕過去3年間の農産物生産者数は、令和4年度96人、令和5年度92人、令和6年度93人、物産事業者数は、令和4年度36事業者、令和5年度と令和6年度は38事業者である。

指定管理者からは、新聞の折り込みやイベントなどでPRを行うほか、SNSを活用した情報発信を行い、さらなる生産者の確保に努めると報告を受けており、市においても、新規就農者への呼びか

### 商 工 費

◎商工業振興事業

けや広報紙に会員募集のお知らせを掲載するなど、生産者の確保に努めていきたいと考えている。

〔質疑〕全日本こけしコンクールの売り上げと、コロナ禍前との増減比較は。

〔答弁〕令和5年度のコンクール出品作品の販売や、招待工人による実演販売、即売などによる売り上げは710万4590円で、コロナ禍前の令和元年度583万630円と比較すると、127万3960円の増となっている。

売り上げが増加した要因は、新しい販売企画である「中ノ沢こけし展示販売会」と「ちやっこいこけし展」が好評を得たことと考えている。

〔質疑〕生活応援商品券「ワンだふるクーポン」の利用状況は。

〔答弁〕市内小売店・飲食店等

で活用できる3千円分の商品券を、令和5年度は2回にわたり配布した。

使用実績額は、第1弾が9202万8500円で、使用率は97.85%、第2弾が9158万7千円で、使用率は98.65%である。

◎白石スキー場運営事業

〔質疑〕地元住民の雇用人数は。

〔答弁〕令和5年度は、46人雇用中、白石市の方は38人で、そのうち不忘地区、蔵王地区、三住地区の方は15人である。

令和5年度は暖冬による雪不足のため雇用が減少したが、令和4年度は64人雇用中、白石市の方は54人で、そのうち不忘地区、蔵王地区、三住地区の方は20人であった。

### 消 防 費

◎消防施設・防災対策事業

〔質疑〕消防団員の装備品や消防施設整備は十分か、今後とも拡充が必要か。